

住民アンケート調査 ご協力をお願い

住民の皆さまには、日ごろから福祉行政にご理解とご協力をいただきまして、心より感謝申し上げます。

このたび、広陵町では、住民・関係団体・行政が連携して、支え合い・助け合いの地域づくりを進めていくための指針となる、町の「地域福祉計画」と社会福祉協議会の「地域福祉活動計画」を見直し、第2期計画を策定することになりました。

この調査は、住民の皆さまに「地域福祉」についての考えや地域活動への参加状況などをお聞きし、計画の基礎資料とするために実施するもので、町内にお住まいの18歳以上の方から無作為に選んだ2,000人を対象に、調査票を送付させていただきました。

なお、調査は無記名で行い、皆さまからの回答は、統計的に処理し、調査の目的以外に使用することは一切ございません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

令和5年8月

広陵町長 山村 吉由

調査票のご記入にあたってのお願い

1. 宛名のご本人がお答えください。ただし、ご本人がお答えになりにくい場合は、ご家族の方がご本人の立場になってお答えください。
2. お答えは、設問ごとに（1つに○）、（あてはまるものすべてに○）などそれぞれ指定されていますので、お間違えのないようお願いいたします。
○印は、番号を囲むように濃くつけてください（例 ①）。
3. お答えいただいた内容は統計的に処理し、プライバシーにかかわる内容を公表することは絶対にありません。
4. ご記入いただいた調査票は9月11日（月）までに同封の返信用封筒に入れて返送してください（切手は不要です）。
5. 本調査について、また、記入上不明な点は、下記までお問い合わせください。

広陵町 福祉部 社会福祉課 社会福祉係（担当：水原）

電話：0745-55-6771

FAX：0745-54-5324

地域福祉とは？

「福祉」というと、高齢者福祉・障がい者福祉・児童福祉など、対象者ごとに分かれた制度やサービスのイメージがあると思います。

これは、必要な福祉サービスが、対象者ごとの法律や制度によって提供されてきたからだと思われます。

「地域福祉」は、誰もが住みなれた地域の中で、安心して暮らせるように、一人ひとりの努力（自助）、住民同士の支え合い・助け合い（共助）、公的な支援・制度（公助）を連携させて、地域の課題を解決していくことです。

近隣の人とのつきあいや、困ったことがあれば助け合う、声をかけ合うという関係は、地域福祉の目指すひとつの姿です。

「地域福祉」を進めていくと、このようなことが期待されます。



ふれあいの
ある地域

困ったときに
助け合える
地域



見守り活動な
ど安心できる
地域

つながりを
感じられる地域



問7 広陵町にお住まいになってからの年数（居住歴）をお答えください。進学や就職のために町外に転出後に戻ってこられた場合は合計年数でお答えください。（1つに○）

- | | |
|------------|-------------|
| 1. 1年未満 | 4. 10～20年未満 |
| 2. 1～5年未満 | 5. 20～30年未満 |
| 3. 5～10年未満 | 6. 30年以上 |

問8 あなたの日頃の主な外出先・活動場所（勤務先等）をお答えください。（1つに○）

- | | | |
|-------|-------|--------------|
| 1. 町内 | 2. 町外 | 3. どちらともいえない |
|-------|-------|--------------|

問9 新型コロナウイルス感染症の流行を受けて、あなたの意識に変化はありましたか。

（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|-------------------|-----------------------------|
| 1. 外出しなくなった | 6. 人とのつながりの大切さを
知ることができた |
| 2. 人と会わなくなった | 7. その他
(具体的に：) |
| 3. 人や物に触るのが怖くなった | 8. 特にない |
| 4. 不安になることが多くなった | |
| 5. 健康に気を付けるようになった | |

2. 地域とのかかわり、地域福祉について

問10 あなたにとって、住民が互いに助け合いができる「地域」の範囲は次のどれだと思いますか。（1つに○）

- | | |
|------------|--------------------|
| 1. 隣近所 | 5. 町全域 |
| 2. 区・自治会単位 | 6. その他
(具体的に：) |
| 3. 小学校区単位 | 7. わからない |
| 4. 中学校区単位 | |

問11 あなたとご近所との関係は次のどれに最も近いですか。（1つに○）

- | |
|----------------------|
| 1. 困ったときに助け合う親しい人がいる |
| 2. お互いに訪問し合う人がいる |
| 3. 立ち話をする程度の人がある |
| 4. 会えばあいさつをする程度の人がある |
| 5. ほとんど近所づきあいはない |

次ページの
問11 付問へ

問11で「4.」または「5.」と回答した方だけお答えください。

問11付問 つきあいがあまりない主な理由は何ですか。

(3つまで○)

- | | |
|-------------------|---------------------------------|
| 1. 人柄をあまり知らないから | 6. 人とのつきあいが苦手だから |
| 2. かかわる機会や時間がないから | 7. つきあいをしたいがどうしたら
よいかわからないから |
| 3. 家族にまかせているから | 8. その他 |
| 4. 特に必要を感じないから | (具体的に：) |
| 5. わずらわしいから | |

問12 あなたは、今後、近所づきあいをどうしたいと思いますか。

(1つに○)

- | |
|---------------------|
| 1. 近所づきあいを深めたい |
| 2. 現状のままでよい |
| 3. 近所づきあいはなるべくしたくない |
| 4. その他 (具体的に：) |

問13 お住まいの地域は暮らしやすいと思いますか。(1つに○)

- | |
|-------------------|
| 1. とても暮らしやすい |
| 2. どちらかというと暮らしやすい |
| 3. どちらかというと暮らしにくい |
| 4. 暮らしにくい |

問13で「3.」または「4.」(暮らしにくい)と回答した方だけお答えください。

問13付問 暮らしにくい主な理由は何ですか。

(3つまで○)

- | |
|------------------------|
| 1. 日常の買い物が不便 |
| 2. 道路事情や交通の便が悪い |
| 3. 地域の行事や近所づきあいが面倒 |
| 4. 子どもの保育・教育のことが心配 |
| 5. 町内に適当な職場が少ない |
| 6. 勤務先・通学先までが遠い |
| 7. 保健・医療分野のサービスや施設が不十分 |
| 8. 福祉分野のサービスや施設が不十分 |
| 9. 消防・防災・防犯体制に不安を感じる |
| 10. 文化施設やスポーツ施設が不十分 |
| 11. 生活環境施設の整備が遅れている |
| 12. 地域活動など住民の交流がない |
| 13. その他 (具体的に：) |

問14 あなたは、「ヤングケアラー」という言葉を知っていますか。 (1つに○)

1. 知っている
2. 聞いたことはあるが内容は知らない
3. 知らない

問14で「1. 」と回答した方だけお答えください。

→ 問14付問 近所の友人・知人やその子ども、子どもの友だちなどに「ヤングケアラー」と思われる子どもはいますか。 (1つに○)

1. いる
2. いるような気がする
3. いないと思う
4. いない

◆ヤングケアラー

ヤングケアラーとは、本来、大人が担うような家族の介護やケア、身の回りの世話を担っている18歳未満の子どものことです。家族の中に介護を必要とする人がいる場合、それをサポートする大人がいないと、子どもが担わざるを得なくなります。具体的には、入浴やトイレの介助や身の回りの世話、それに買い物、料理、掃除、洗濯などの家事です。介護やケアが必要な人は、主に障害や病気のある親や祖父母が想定されますが、きょうだいやほかの親族の場合もあります。年齢や成長の度合いに見合わない重い責任や負担により、学業や友人関係などに影響が出てしまうことがあります。

問15 あなたは、地域にある様々な福祉の課題（高齢者・障がいのある人の生活、子育て、健康づくりに関する問題など）に対し、地域住民が自主的に支え合い、助け合う関係が必要だと思いませんか。 (1つに○)

1. 必要だと思う
2. どちらかという必要だと思う
3. どちらかという必要だとは思わない
4. 必要だとは思わない
5. わからない



問16 あなたが、高齢者や障がいのある人、子どもなどが住む近所の世帯に対して、支援や協力できることは何かありますか。 (あてはまるものすべてに○)

1. 外出時の同行
2. 手紙の代筆・電話かけ
3. 新聞や本の代読
4. 話し相手
5. 相談相手
6. あいさつや安否確認などの声かけ
7. ごみ出し
8. 食事の用意
9. 買い物の手伝い・代行
10. 玄関前などの掃除・庭の手入れ
11. 幼稚園・保育所などへの送り迎え
12. 子どもの登下校時の見守り
13. 災害時の避難支援・安否確認
14. 住居内の荷物の移動
15. 短時間の子守り
16. 防犯のための巡回
17. その他（具体的に： _____)
18. 特にできることはない

問17 あなたは、地域での福祉活動を推進していく上で、住民と行政との関係はどうあるべきだとお考えですか。 (1つに○)

1. 福祉サービスの充実のために、住民も行政も協力し合い、協働して取り組むべきである
2. 家庭や地域をはじめ住民同士で助け合い、手の届かない部分は行政が援助すべきである
3. 行政が担当すべきだが、手の届かない部分は住民が協力すべきである
4. 福祉サービスは行政が担当すべきで、住民はあまり協力することはない
5. わからない

3. ボランティア活動について

問18 あなたの地域活動やボランティア活動への参加状況と、今後の参加意向についておたずねします。 (1つに○)

1. 現在参加しており、今後も参加したい
2. 現在参加していないが、今後は参加したい
3. 現在参加しているが、今後は参加するつもりはない
4. 現在参加しておらず、今後も参加するつもりはない

次ページの
問18付問③へ

問18で「1.」または「2.」と回答した方だけお答えください。

→ 問18付問① あなたが、現在参加している（今後参加したい）活動の具体的な内容は次のどれですか。 (あてはまるものすべてに○)

1. 高齢者の援助に関する活動
2. 子育ての支援や子どもの世話に関する活動
3. 障がい者への支援に関する活動
4. 健康づくりや栄養・食生活に関する活動
5. スポーツ・文化・生涯学習に関する活動
6. 地域づくりに関する活動
7. 青少年の健全な育成に関する活動（例：夜間の見廻り）
8. 地域の清掃など環境美化に関する活動
9. 防災・防犯に関する活動
10. 災害ボランティアの活動
11. その他（具体的に： _____）

問18で「1. 現在参加しており、今後も参加したい」と回答した方だけお答えください。

→ 問18付問② ボランティア活動をする上で改善が必要と思うことはありますか。 (あてはまるものすべてに○)

1. 活動に関する情報収集や情報発信をする場、機会が少ないこと
2. 活動の拠点となる場所が遠いこと
3. 他の団体などとの連携が難しいこと
4. 参加者がなかなか集まらないこと
5. 活動の後継者やリーダー役になる人がいないこと
6. トラブルなどが発生したときの責任が重いこと
7. 経済的な負担が大きいこと
8. その他（具体的に： _____）
9. 特にない

問18で「3.」または「4.」と回答した方だけお答えください。

問18付問③ 地域活動やボランティア活動に参加しない理由は次のどれですか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------|----------------|
| 1. 活動に興味がない | 4. 参加したい活動がない |
| 2. 参加する時間がない | 5. その他(具体的に:) |
| 3. 参加するための情報がない | 6. 特にない |

問19 あなたは、福祉ボランティア活動の輪を広げるために、今後どのようなことが特に必要だと考えますか。(3つまで○)

- | |
|-------------------------------------|
| 1. 地域における福祉活動の意義と重要性をもっと周知する |
| 2. 住民自らが日ごろから地域のつながりを持つように心がける |
| 3. 地域に住む人同士が互いに理解し合い、助け合おうという意識を深める |
| 4. ボランティア活動に対する支援を充実させる |
| 5. リーダーや福祉活動に携わる人材を育成すること |
| 6. 困っている人と助けることのできる人をつなぐ仕組みをつくる |
| 7. ボランティア活動の方法などに関する研修を行う |
| 8. 学校教育や社会教育での福祉教育を充実する |
| 9. その他(具体的に:) |

4. 地域福祉にかかわる団体等について

問20 あなたは、「民生委員・児童委員」について知っていますか。(1つに○)

- | |
|-----------------------------|
| 1. 名前も活動内容もよく知っている |
| 2. 名前は聞いたことがあるが、活動内容はよく知らない |
| 3. 名前も活動内容もよく知らない |

問21 あなたがお住まいの地区を担当している「民生委員・児童委員」を知っていますか。(1つに○)

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

◆民生委員・児童委員

民生委員・児童委員は、厚生労働大臣から委嘱され、ひとり暮らしや寝たきりの高齢者、母子・父子家庭の方、障がいのある方などから生活上の問題や家庭関係の悩みなどの相談を受けたとき、指導や助言、福祉制度の紹介などを行う地域福祉の担い手です。現在、広陵町では、各地域を担当する55人の民生委員・児童委員が活動しています。

問22 あなたは、「地域福祉委員」について知っていますか。

(1つに○)

1. 名前も活動内容もよく知っている
2. 名前は聞いたことがあるが、活動内容はよく知らない
3. 名前も活動内容もよく知らない

◆地域福祉委員

地域福祉委員は、自治会や区内での福祉の問題・要望を把握し、民生委員・児童委員と連携しながら、助け合い活動を展開して、地域住民と共に「福祉のまちづくり」を広げていく推進役です。現在、広陵町では21人の地域福祉委員が各地区で活動しています。

問23 あなたは、「ふれあい・いきいきサロン」を知っていますか。

(1つに○)

1. 参加したことがある
2. 名前も活動内容もよく知っているが、参加したことはない
3. 名前は聞いたことがあるが、活動内容はよく知らない
4. 名前も活動内容もよく知らない

◆ふれあい・いきいきサロン

ふれあい・いきいきサロンは、身近な場所（地区公民館や集会所等）で、社会福祉協議会とボランティア団体や区・自治会、地域住民が協力して企画・運営し、高齢者や障がいのある方、子育て中の親子など住民同士の仲間づくり、出会いの場づくりを進める活動です。現在、広陵町では、各地域で15のサロンが開催されています。

問24 あなたは、社会福祉協議会（社協）を知っていますか。

(1つに○)

1. 名前も活動内容もよく知っている
2. 名前は聞いたことがあるが、活動内容はよく知らない
3. 名前も活動内容もよく知らない

◆社会福祉協議会

社会福祉協議会は、「社会福祉法」に基づき設置された社会福祉法人で、地域の社会福祉活動を推進することを目的とした、非営利の民間組織です。

住民の皆さまの協力や民生委員・児童委員、社会福祉関係者など関係団体・機関との連携のもと、「福祉のまちづくり」の実現を目指して各種福祉サービスや相談活動、ボランティア活動の支援、共同募金運動への協力など、様々な場面で地域の福祉増進に取り組んでいます。

問25 広陵町社会福祉協議会（社協）が行う活動・支援として、今後充実して欲しいものはどれですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 福祉に対する要望、ニーズの把握とサービスの企画・実施
2. 福祉に関する情報提供の充実（インターネット等を含む）
3. 福祉に関する学習や講習、講演会等の開催
4. 近隣同士の助け合いの仕組みづくりとその充実
5. 児童・生徒・地域住民を対象とした福祉教育の充実
6. ボランティア活動等の充実
7. 福祉団体への支援や育成
8. 防災に関する活動
9. 権利擁護に関する事業（認知症や障がい等により判断能力が不十分な方に対する必要な手続きの援助、日常的な金銭の管理等）
10. 介護保険や障害者総合支援法（障がい者の日常生活や社会生活を総合的に支援するための法律）以外の在宅福祉サービスの充実
11. 子育て支援の充実
12. 福祉に関する相談や苦情の受付
13. その他（具体的に： _____）
14. 特に期待することはない

5. 相談について

問26 あなたは暮らしの問題で困ったときに、誰によく相談しますか。（3つまで○）

- | | |
|---------------------------------|--------------------------|
| 1. 役場などの相談窓口
（地域包括支援センターを含む） | 8. 福祉活動をしている民間団体 |
| 2. 社会福祉協議会の相談窓口 | 9. 家族・親戚 |
| 3. 民生委員・児童委員 | 10. 友人・知人 |
| 4. 区・自治会の役員 | 11. 職場などの上司・同僚 |
| 5. ケアマネジャー（介護支援専門員） | 12. その他
（具体的に： _____） |
| 6. 保育所・幼稚園・小中学校 | 13. 相談できる人はいない |
| 7. 病院・施設 | 14. 相談したいことはない |

◆地域包括支援センター

保健、介護、福祉という3分野の専門職が連携し、町や地域の医療機関、介護（介護予防）サービス事業者、ボランティアなどと協力しながら地域の高齢者の様々な相談に対応する機関です。

問27 あなたは、町の福祉などに関する窓口を利用したことがありますか。 (1つに○)

1. 利用したことがある

2. 利用したことがない

問27で「1. 利用したことがある」と回答した方だけお答えください。

問27付問 町の窓口は利用しやすかったですか。

(1つに○)

1. 利用しやすかった

2. 利用しにくかった (具体的な理由:)

問28 あなたは、町の各窓口で相談や手続きを行う場合、どのような窓口を希望しますか。

(3つまで○)

1. 別の部署のことも含めて自分に必要な情報や手続きがすぐわかる
2. 町が行っているサービスだけでなく、その他の公的機関や民間のサービスについても知ることができる
3. 1か所で何でも相談や手続きをすることができる
4. 相談や手続きの窓口を案内してくれる係員がいる
5. 書類の書き方が簡単で、提出する書類が少ない
6. 役場以外の身近なところで相談や手続きができる
7. 自宅からインターネットで必要な情報や申請書を入手したり、申請手続きができる
8. 個別の相談室がある
9. 障がいがあったり子ども連れでも相談や手続きがしやすい設備が整っている
10. その他 (具体的に:)

6. 災害時における助け合いについて

問29 ひとり暮らし高齢者や障がいのある方など、災害発生時に気になる人が身近な地域にいますか。 (1つに○)

1. いる

2. いない

3. わからない

問30 地震や台風などの災害時の備えとして、あなたの住む地域で重要だと思うことは何ですか。 (3つまで○)

1. 自分や同居する家族の避難方法の確認
2. 日ごろから隣近所とのあいさつ、声かけやつきあい
3. 災害対策についての学習会の開催
4. 地域での避難訓練の実施
5. 危険箇所の把握
6. 地域における自主防災組織の構築
7. 避難の際に手助けが必要な人の把握や情報伝達の体制づくり
8. 避難の際に手助けが必要な人を支援する人たちの把握
9. 災害ボランティアの育成
10. その他（具体的に： _____）
11. 特にない

問31 地震や台風などの災害時の備えとして、あなたの住む地域で実際に行われていることは何ですか。 (あてはまるものすべてに○)

1. 自分や同居する家族の避難方法の確認
2. 日ごろから隣近所とのあいさつ、声かけやつきあい
3. 災害対策についての学習会の開催
4. 地域での避難訓練の実施
5. 危険箇所の把握
6. 地域における自主防災組織の構築
7. 避難の際に手助けが必要な人の把握や情報伝達の体制づくり
8. 避難の際に手助けが必要な人を支援する人たちの把握
9. 災害ボランティアの育成
10. その他（具体的に： _____）
11. 特にない

7. その他の福祉問題について

問32 あなたは、「孤立死」について見聞きしたことがありますか。 (1つに○)

1. 近所でそのような方がいたのを知っている
2. うわさを耳にしたことがある
3. 見聞きしたことはない

◆孤立死

孤立死は、人とつながることができずに、社会的に孤立し、誰にも看取られることなく亡くなることをいいます。孤立死を防止するには、日常のつながりが課題となります。

問33 あなたは、「自殺対策基本法」という法律を知っていますか。 (1つに○)

1. 内容を知っている
2. 聞いたことはあるが内容は知らない
3. 知らない

◆自殺対策基本法

自殺対策基本法は、自殺の防止と自殺者の家族等への支援の充実を目的として、平成18年に制定された法律です。平成28年に改正され、「誰も自殺に追い込まれることのない社会の実現」に向けた取り組みを進めるとしています。

問34 あなたは、最近6か月間に「死にたい」と思うほどの悩みやストレスを感じたことがありますか。 (1つに○)

1. よくあった
2. たまにあった
3. なかった

問34で「1.」または「2.」(あった)と回答した方だけお答えください。

問34付問 どのようなことが悩みの原因でしたか。 (あてはまるものすべてに○)

1. 家庭問題
2. 健康問題
3. 経済・生活問題
4. 就労・職場問題
5. 学校生活問題
6. その他
(具体的に：)
7. 答えたくない

問35 あなたは、自殺を減少させるために重要と思われることは何ですか。(3つまで○)

1. 学校での「いのちの教育」の充実
2. 職場でのこころの健康づくりの推進
3. 気軽に相談できる場所(電話相談など)の充実
4. 自死遺族の支援の充実
5. 自殺未遂者の支援の充実
6. 自殺やこころの健康に関する普及啓発
7. 早期対応の中心的役割を果たす人材(ゲートキーパー)の養成
8. 自殺相談などの専門機関の設置
9. その他(具体的に：)

◆ゲートキーパー

地域や職場、教育、その他様々な分野において、身近な人の自殺の危険を示すサインに気づき、適切な対応(悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聞いて、必要な支援につなげ、見守る)を図ることができる人のこと。言わば「いのちの門番」とも位置付けられる人のことです。

問36 あなたは、子どもや高齢者、障がい者に対する虐待について見聞きしたことがありますか。(1つに○)

1. 近所でそのような方がいたのを知っている
2. うわさを耳にしたことがある
3. 見聞きしたことはない

問37 あなたは、子どもや高齢者、障がい者への虐待、家庭内暴力を知った場合に、町など公的機関に速やかに通報する義務が住民にあることを知っていますか。(1つに○)

1. 知っている
2. 知らない

問38 あなたは、児童虐待を知った場合に通報することができる児童相談所全国共通ダイヤル「189」を知っていますか。(1つに○)

1. 知っている
2. 知らない

◆「189(いち・はや・く)」:児童相談所全国共通ダイヤル

「189」は児童虐待と思ったときなどに、児童相談所に通告や相談ができる全国共通の電話番号です。「児童相談所全国共通ダイヤル」にかけると管轄の児童相談所につながります。通告や相談は匿名で行うこともでき、通告や相談をした人、その内容に関する秘密は守られます。

問39 あなたは、高齢者の「セルフ・ネグレクト」について知っていますか。(1つに○)

1. 知っている
2. 知らない

◆セルフ・ネグレクト

体力や生活意欲が低下した高齢者が、生活環境や栄養状態が悪化しても、それを改善せず、周囲に助けも求めないため、ご自身の心身の安全や健康が脅かされる状態となることです。セルフ・ネグレクト状態にある方は、ごみ屋敷や孤立死の当事者となりやすいといわれています。

8. これからの福祉に必要なことについて

問40 これからの地域における「福祉」を担う主体について、あなたはどのように考えますか。(1つに○)

1. できるだけ人に頼らず、自分でできることは自分でやっていきたい
2. 地域の人が互いに協力し、住みやすい地域にしていきたい
3. 福祉や地域のことは、行政がしっかりと面倒をみるべきである
4. 福祉や地域のことは、行政も住民も協力し、共に取り組むべきである
5. その他（具体的に： _____）
6. わからない

問41 あなたは、町の福祉サービスに関する情報をどのように入手していますか。

(3つまで○)

- | | |
|-----------------------------|----------------------|
| 1. 町の広報紙 | 7. 民生委員・児童委員 |
| 2. 町のホームページ | 8. 福祉団体やサークル |
| 3. 町のフェイスブック | 9. 保育所・幼稚園・小中学校 |
| 4. 地区の回覧板や集会 | 10. 家族・親族（同居・別居を問わず） |
| 5. 役場の窓口
（地域包括支援センターを含む） | 11. 知人、友人 |
| 6. 社会福祉協議会の窓口 | 12. 近所の人 |
| | 13. その他（具体的に： _____） |

問42 あなたは、福祉についてどのような情報を知りたいですか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 健康づくりについてのサービスの情報
2. 子育てについてのサービスの情報
3. 高齢者や障がい者のサービスの情報
4. 介護保険や福祉のサービス提供事業者の情報
5. 社会福祉協議会の活動情報
6. 寄付や援助に関する情報
7. 就労支援・自立支援に関する情報
8. ボランティア活動やNPOなどについての情報
9. 健康づくりや生きがいづくりについての学習機会（講座や教室）
10. その他（具体的に： _____）
11. 特にない

問43 誰もが住みなれた地域で安心して生活していくためには、どのような「福祉」の取り組みが大切だと思いますか。 (5つまで○)

1. 在宅福祉サービスの充実
2. 施設サービスの充実
3. 身近な相談窓口の充実
4. 専門性の高い相談支援の充実
5. 福祉に関する情報提供の充実
6. 手当など、個人や家族に対する金銭的な援助の充実
7. 施設や交通機関などにおけるバリアフリーの推進
8. 個人の自立を支援するサービスの充実
9. 地域活動への公的な援助の充実
10. 地域活動を担う人材の育成
11. 気軽に集まれる場の充実
12. 健康づくりや生きがいくりの推進
13. 住民が共に支え合い、助け合える地域づくりの推進
14. 福祉教育の充実
15. その他（具体的に： _____)
16. 特にない

※「地域福祉」や「福祉全般」についてのご意見等をご記入ください。

記入欄：

☆ご協力ありがとうございました。

ご記入いただいた調査票は9月11日（月）までに同封の返信用封筒に入れて返送してください。

